

- (2024年 岐阜県公立入試 類似)

- 1世紀、3世紀、5世紀の倭（日本）の勢力が行った中国への朝貢について述べた文として、正しいものはどれか。（2016年 岐阜県公立入試 類似）

1. 3世紀、邪馬台国の卑弥呼が後漢へ使いを送り、「親魏倭王」の称号を授けられた。	2. 1世紀、奴国の王が中国の後漢へ使いを送り、皇帝から金印を授けられた。	3. 5世紀、倭の五王が魏へ使いを送り、朝鮮半島における軍事的な立場を認めさせようとした。	4. 5世紀、奴国の王が南朝の宋へ使いを送り、金印を授けられた。
---	---------------------------------------	---	----------------------------------

1. 下関条約の内容が、列強諸国が合意していた「門戸開放・機会均等」の原則に反していたため
2. 日本が獲得した多額の賠償金によって、東アジアの経済バランスが崩れることを恐れたため
3. ロシアが自国の南下政策を進める上で、日本の大陸進出が妨げになると判断したため
4. ロシアが清との間に結んでいた軍事同盟に基づき、清の領土保全を支援するため

1. 平氏が勢力を強めていた奈良の貴族に対抗するため、平氏の拠点であった現在の京都周辺に都を築いて懐柔しようとした。
2. 大陸から最新の文化や制度を取り入れるため、難波津などの港に近く、船での往来に便利な場所へ都を移すことが求められた。
3. 奈良の大きな寺院が政治に強い影響力を持つようになったため、それらの勢力から離れて天皇中心の政治を立て直そうとした。
4. 東北地方で反乱を起こした蝦夷を鎮圧するために、軍事的な拠点としてより北に位置する山城国へ拠点を移す必要があった。

1. 衆議院の出席議員の過半数の賛成で再び可決すること

1. 国際連盟の常任理事国として、中国国内の軍閥争いを鎮めるために正当な軍事介入を行い、加盟各国から高い評価を受けた
2. 治安維持法による国民の統制が弱まったため、軍部が政府の許可なく独断で満洲での平和維持活動を強化した
3. 日独伊三国同盟の締結に基づき、アジアにおける民主主義を守るためにソ連の南下を阻止することを目的として侵攻した
4. 世界恐慌による不況を打開するため、軍部が満洲の資源や市場を求めて武力占領を強行し、国際連盟による平和維持の仕組みから離脱した

1. 南部鉄器・天童将棋駒 2. 西陣織・清水焼 3. 輪島塗・加賀友禅 4. 備前焼・熊野筆

1. 養殖業 2. 遠洋漁業 3. 沖合漁業 4. 栽培漁業

1. 多文化共生 2. 東西対立 3. 南南問題 4. 南北問題

1. 政府間國際機關 2. NPO（非營利組織） 3. NGO（非政府組織） 4. 多国籍企業

1. 介護保険 2. 後期高齢者医療制度 3. 児童手当制度 4. 国民健康保険

1. 大気中のフロンガスがオゾン層を破壊し、地表に届く紫外線の量が増加して健康被害をもたらしている。
2. 急速な都市化に伴う開発や過剰な耕作によって、世界の乾燥地域を中心に植生が失われ続けている。
3. 極地の氷床の融解や海水の熱膨張により海面が上昇し、低地の水没の危険性が高まっている。
4. 排気ガスに含まれる硫酸酸化物などが雨に溶け込み、森林が枯れたり湖の魚が死んだりする被害が出ている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 山陰	中国地方は中央部を東西に走る中国山地を境として、北側と南側で大きく二つの地域に区分されます。このうち、北側の日本海に面した地域を「山陰」と呼び、南側の瀬戸内海に面した地域を「山陽」と呼びます。この区分は古くからの地域区分（五畿七道）に基づいています。
問2	答え 2 1世紀、奴国の王が中国の後漢へ使いを送り、皇帝から金印を授けられた。	1世紀には、九州の奴国の王が後漢の光武帝に使者を送り、「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かりました。3世紀に魏へ使いを送ったのは邪馬台国の卑弥呼であり、5世紀に南朝の宋へ使いを送ったのは倭の五王です。それぞれの時代における「倭の勢力」と「中国の王朝」の組み合わせを正確に把握する必要があります。
問3	答え 3 日英同盟	第一次世界大戦が始まると、日本は1902年にイギリスとの間で結んでいた日英同盟を理由に、イギリスと同じ連合国側として参戦しました。この同盟はもともとロシアの極東進出を警戒して結ばれたものでしたが、大戦においてはドイツとの戦いに参加する根拠となりました。
問4	答え 3 ロシアが自国の南下政策を進める上で、日本の大陸進出が妨げになると判断したため	当時のロシアは、不凍港を求めて南へ領土や影響力を広げる「南下政策」を推進していました。日本が下関条約で遼東半島を獲得することは、ロシアが狙っていた満州（中国東北部）への進出と真っ向から衝突するものでした。そのため、ロシアはドイツとフランスを誘って日本に圧力をかけ、半島を返還させました。日本国内ではこの屈辱に対し、将来のロシアとの対決を見据えて「臥薪嘗胆」を合言葉に軍備拡張が進められることとなります。
問5	答え 3 奈良の大きな寺院が政治に強い影響力を持つようになったため、それらの勢力から離れて天皇中心の政治を立て直そうとした。	奈良時代、東大寺などの有力な寺院が政治に深く介入し、天皇の権威が揺らぐ事態が生じていました。桓武天皇はこうした仏教勢力の影響を断ち切り、律令政治を再建することを目指しました。そのため、既存の有力寺院が存在しない土地を選んで遷都を強行しました。遷都後も、新しい仏教である最澄の天台宗や空海の真言宗を保護し、旧来の奈良仏教に対抗させようとした。
問6	答え 2 衆議院の出席議員の3分の2以上の多数で再び可決すること	法律案の議決において、衆議院と参議院で異なる判断がなされた場合、衆議院は出席議員の3分の2以上の多数で再議決を行うことで、参議院の否決を覆して法律を成立させることができます。これは、衆議院が参議院よりも任期が短く、解散があることで、より最新の民意を反映しているときみなされる「衆議院の優越」の一環です。予算や条約の承認とは異なり、法律案の場合は両院協議会の開催は任意である点も特徴です。
問7	答え 4 世界恐慌による不況を打開するため、軍部が満州の資源や市場を求めて武力占領を強行し、国際連盟による平和維持の仕組みから離脱した	世界恐慌による閉塞感を打破しようとした軍部は、満州を日本の生命線と位置づけ、武力による解決を図りました。しかし、この行動は不戦条約や国際連盟の原則に反するものとみなされたため、日本は国際社会で孤立し、連盟を脱退することになりました。治安維持法はむしろ国民の反対意見を抑え込み、軍部の行動を支える側面に働いたため、選択肢の記述は誤りです。
問8	答え 3 輪島塗・加賀友禅	石川県は北陸地方に位置し、冬季の降雪が非常に多い地域です。この地域では、輪島塗（漆器）や加賀友禅（染色）といった高度な技術を要する伝統的工芸品が発達しました。これらは気候条件を背景とした歴史的な産業であり、現在も地域の重要な産業となっています。
問9	答え 1 養殖業	卵からかえしたり捕獲したりした稚魚を、出荷に適したサイズになるまで人間が餌を与えて管理し、収穫する仕組みを指します。自然の海に放流した後に成長を待ってから再び捕獲する栽培漁業とは異なり、収穫まで継続して管理下に置く点が大きな特徴です。
問10	答え 4 南北問題	第二次世界大戦後に独立を果たしたアジアやアフリカの国々（発展途上国）と、すでに高度な工業化を遂げていた欧米や日本（先進工業国）の間には、所得や生活水準において大きな開きが生じました。先進国が主に北半球に、途上国が主に南半球に位置することからこの名称で呼ばれます。発展途上国どうしの格差を指す「南南問題」や、冷戦時代の政治的対立である「東西対立」と混同しないよう注意が必要です。
問11	答え 3 NGO（非政府組織）	国際社会において、政府の枠組みにとらわれず民間団体が主体となって活動する組織を指します。国連などの政府間国際機関を補完する存在として、人道支援や環境保護などの国際協力において極めて重要な役割を果たしています。なお、NPOは主に国内の社会課題に取り組む団体を指すことが多いのに対し、NGOは特に国際的な活動を行う団体を指して使われる言葉です。
問12	答え 1 介護保険	介護保険は、高齢化社会における介護負担の増大に対応するため、40歳以上の国民が保険料を負担し、介護が必要と認定された際にサービスを受けられるようにした制度です。日本の社会保険を構成する「5番目の保険」として、社会保障の重要な柱となっています。
問13	答え 3 極地の氷床の融解や海水の熱膨張により海面が上昇し、低地の水没の危険性が高まっている。	平均気温の上昇は海水の温度を上げ、熱膨張による体積増加や陸上の氷河の融解を招きます。その結果、海面が上昇し、ツバルなどの標高が低い島国や沿岸部の都市では、居住地が失われるなどの脅威にさらされています。他の選択肢は、オゾン層の破壊や酸性雨、砂漠化について述べています。